



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第98号

2011年5月

発行：CTF松阪

NPO 法人 CTF 松阪

平成 23 年度通常総会開催について（ご案内）

CTF 松阪 会長 川 口 保 美

NPO 法人 CTF 松阪の平成 23 年度通常総会を下記のとおり開催いたします。

正会員の皆様方には、ご多用中のところ恐れ入りますが、何卒ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 23 年 5 月 21 日（土）11 時から 12 時まで（予定）
2. 場 所 まどみのやかた見庵（松阪市魚町 1643 番地 本居宣長旧宅跡向かい）
3. 審議事項
 - （1）平成 22 年度事業報告の件
 - （2）平成 22 年度収支決算の件
 - （3）平成 23 年度事業計画の件
 - （4）平成 23 年度収支予算の件
 - （5）役員改選の件
4. その他
 - （1）出欠につきましては、同封の「出欠連絡票」（ハガキ）にて、5 月 14 日までに届くようにお返事ください。なお、欠席の方は、委任状部分に必要な事項をご記入ください。
 - （2）駐車場は、魚町マックスバリュー跡にある牛銀様の第二駐車場をご利用ください。
 - （3）総会終了後ごゆっくりと懇談していただけるよう、お弁当を用意いたします。

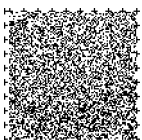
以上



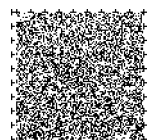
私は昨年夏、車のドアで手を挟み人差し指を骨折しました。
そこで骨の慣用句を探してみました。

- ・【骨折り損のくたびれもうけ】 --- 苦勞しても報われず、ただ疲れだけが残ること。
- ・【骨が折れる】 ----- そのことをするのが非常に困難で苦勞すること。
- ・【骨身にこたえる】 ----- 苦痛などを心や体のしんまで強く感じることに。
- ・【骨身にしみる】 ----- 心の奥底まで染み通るほどに強く感じることに。
- ・【骨身を惜しまず】 ----- 苦勞を嫌がらないで一生懸命働くことに。
- ・【骨身を削る】 ----- 体がやせ細るほどの苦勞に耐えて努力することに。
- ・【骨休めをする】 ----- 休養を取って心身の疲れを癒やすことに。
- ・【骨をうずめる】 ----- その土地にとどまって一生を終えることに。
- ・【骨を惜しむ】 ----- 苦勞することを嫌がって怠けることに。
- ・【骨を折る】 ----- 目的を達成するためにあれこれ苦勞することに。

M. W



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。





Windows 98/Me と Windows XP/Vista/7

Windows OS もこの10年あまりの間に 98 → 2000 → Me → XP → Vista → 7 へとめまぐるしく進化してきましたが、さて何処がどう変わったのでしょうか。

Windows 98/Me の時代にはアプリケーションに何かトラブルが発生すると、パソコンがウンともスンとも言わなくなることは珍しくありませんでしたが、Windows XP になってからはアプリケーションに何かトラブルが発生しても「タスク・マネージャ」でそのアプリを終了すれば他の作業は継続できるようになりました。この違いは何なのでしょう。

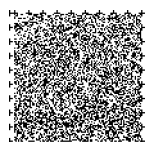
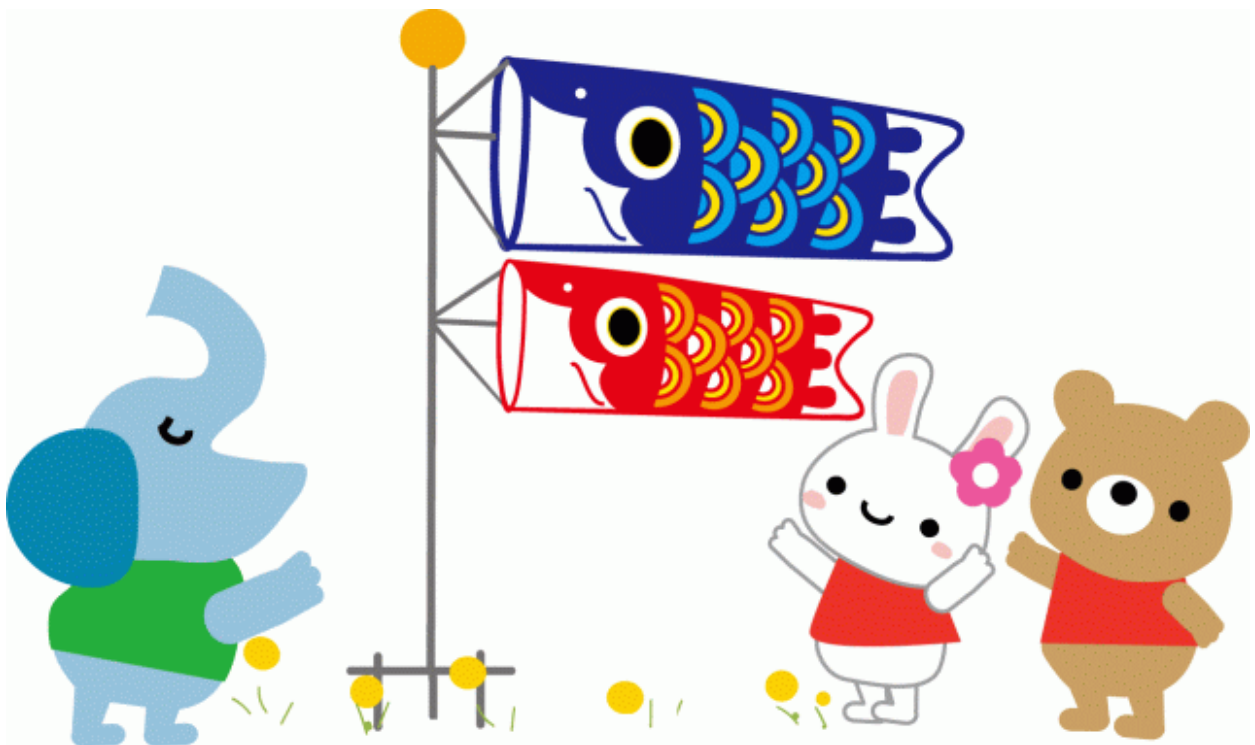
それは Windows 98/Me が備えるシステム保護機能がNT系と比べ貧弱だったということです。Windows 98/Me もNT系と同様にシステムを保護するための「カーネル・モード」という動作モードを備えてはいましたが、NT系のように全システム・コードが「カーネル・モード」で動作していませんでした。

「マルチタスク」にも問題がありました。Windows 98/Me では「プロセスの管理」と「メッセージ駆動」に問題点を抱えており、多くの場合において安全なマルチタスクを実現できていませんでした。

Windows 98/Me がNT系と比べて問題が多いのは MS-DOS や Windows 3.1 などの過去のOSとの互換性を保つため「32ビットOSでありながら、過去の16ビット・コードを内蔵していた」からです。16ビット・コードはWindows NT や 98 の32ビット・コードとは互換性がなく、同じWindowsのコードでありながら Windows 3.1 のコードは「16ビット(Win16)コード」、Windows NT や 98 のコードは「32ビット(Win32)コード」と分けて処理しなければなりませんでした。

それでは、なぜコードに互換性がないとシステムが不安定になるのか、そのへんの理由を探ってみよう。

つづく



第31回理事会開催

4月9日(土) 松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、理事10名が出席し、第32回理事会を開催しました。内容は次のとおりです。

1. 平成22年度の活動状況の報告
2. 平成23年度通常総会の開催についてその他の審議
☆平成23年5月21日(土) 11時~12時 まどみのやかた見庵にて開催を決定

活動報告

【4月】

第31回理事会 (9日)
障がい者対象個人向けパソコン講座
(5日、12日、19日、26日)

活動予定

【5月】

平成23年度通常総会 21日
11:00~12:00 まどみのやかた見庵にて
障がい者対象個人向けパソコン講座
10日、17日、24日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記



いなばや

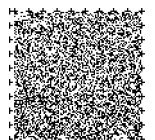
今月は大黒田町にある「いなばや」を訪ねました。

「いなばや」と聞いてもピンとこない人も、「びっくりうどん」と聞くと『ああ、あそこ』というくらい、古くからあるお店です。素朴な味を守って80年以上も続いているそうです。

「びっくりうどん」は普通のうどんの2~3倍のボリュームがあり、話のタネにも一度食べてみられてはいかが？
完食に自信のない方には、普通のうどんもあります。

写真は、かやくびっくり 800円(上)
カレーびっくり 850円(下)

所在地：松阪市大黒田町新道184
電話：0598-21-1707
営業時間：7:00~14:00
定休日：毎週日曜日、祝日



今月は、教職のかたわら障がい者支援の活動・ボランティア活動など、多方面でお忙しくご活躍の侑子様からご投稿をいただきました。



赤壁コンサートに思う

侑子

松阪工業高校吹奏楽部主催の「赤壁コンサート」(楽器でうたう 日本のうた・世界のうた)があり、出かけしてきました。恥ずかしながら、高2の娘が昨年度より入部していて、赤壁校舎での演奏は初舞台でした。3月の予定が、折からの震災で延期されていたもので、当日はアルトサックス奏者の先生も招いて、宮城県の民謡(斎田郎節)などの演奏もあり、胸に迫るものがありました。被災された方々に必要なのは、生活物資の次は音楽だと顧問の先生がおっしゃってましたが、納得です。生徒たちのソロの演奏も一人ひとりの真剣さが伝わってきました。そして、創立109年目の赤壁校舎に響く澄んだ調べに、どれだけの歳月が流れても変わらない人々の心を感じました。

4月は職場の異動があり、なかなか気持ちが切り替えられずにいたので、ゆったりした時間を過ごせよかったです。別れもあれば出会いもあり、変わるものもあれば変わらないものもあります。新しい職場で1ヶ月、少しずつ肩の力が抜けてきた感じもします。これから、自分らしく変わらないものを探そうかなと思います。

PS 演奏会のご案内

「赤壁コンサートVol. 5」 平成23年6月18日(土) 午後3時開演

CTF通信は、バックナンバーも含めて、CTF松阪のホームページに掲載してあります。
トップページ(<http://ctf.dip.jp/>)から、会員のページ→会員情報誌 CTF通信、とたどってください。

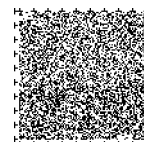
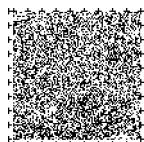


編集後記

厳しさの冬も過ぎ去り、天を仰げば五月・澄み切った青空・鯉のぼりが気持ちよく泳いでいます。

震災に遭われた被災地の方々も、少しずつ復興にむかって進んでいる様子が、報道されています。まだまだこれからです。震災・津波の怖さを、改めて知りました。

今月はCTFの総会です、皆様のご参加、お待ちしております。



CTF通信第98号

2011年(平成23年)5月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人
CTF松阪
発行責任者 川口保美
住所 〒515-0081
松阪市本町2181-1
電話 0598-21-7268
URL <http://ctf.dip.jp/>